

# 「南相馬チャンネル」北陸地域映像提供実験支援協議会を設置

～北陸地域に東日本大震災で被災され避難された市民の方々へ現地の復興情報等の映像提供実験を開始～



テレビ会議システムにより会合に出席した村田南相馬副市長の挨拶



田中南砺市長の挨拶

北陸総合通信局は、8月31日（水）に「南相馬チャンネル」北陸地域映像提供実験支援協議会を開催しました。

はじめに齊藤一雅北陸総合通信局長が挨拶し、続いてテレビ会議システムにより会合に出席した村田崇南相馬市副市長、さらに田中幹夫南砺市長が挨拶されました。

議事では、設置要綱が承認され、会長に齊藤北陸総合通信局長が選出されました。

福島県南相馬市では、北陸地域に東日本大震災で被災され避難された南相馬市民の方々を対象に、インターネット回線を通じ、デジタルテレビやパソコンなどで視聴可能な「南相馬チャンネル」の映像提供実験を9月1日（木）から開始しています。

本協議会は、南相馬市が北陸地域において実施する「南相馬チャンネル」の映像提供実験の支援に関する事項を検討すること等を目的として、南相馬市、南砺市、北陸総合通信局、NTT西日本、ヨーズマー、パナソニック、アクトビラなどが参加し、ネット環境を持たない避難者には、実験期間の12月末まで参加企業がインターネット回線やデジタルテレビを無償で提供します。

また、会場では映像提供実験デモとして、実験機材を用いて参加者が「南相馬チャンネル」を視聴しました。



会長に選出された齊藤局長